



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月2日

上場会社名 フジ日本精糖株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2114 URL <http://www.fnsugar.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江口 達夫
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 福田 弘 (TEL)03-3667-7811
 四半期報告書提出予定日 平成22年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	9,847	△1.3	941	8.9	1,024	7.1	683	24.7
22年3月期第2四半期	9,981	28.3	864	36.1	956	37.5	548	83.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	25 83	—
22年3月期第2四半期	20 40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	18,494	12,007	64.9	453 80
22年3月期	17,937	11,710	65.3	442 52

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 12,007百万円 22年3月期 11,710百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0 00	—	10 00	10 00
23年3月期	—	0 00			
23年3月期(予想)			—	10 00	10 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,500	2.6	1,600	3.9	1,700	3.6	1,100	44.2	41 57

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 4 「その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無
新規 一社 ()、除外 一社 ()

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期2Q	29,748,200株	22年3月期	29,748,200株
23年3月期2Q	3,288,444株	22年3月期	3,283,924株
23年3月期2Q	26,462,951株	22年3月期2Q	26,864,386株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第2四半期連結累計期間】	7
【第2四半期連結会計期間】	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新興国を中心とした外需により、企業業績や設備投資に改善傾向が見られたものの、円高の進行、雇用不安、消費低迷等により先行きの不透明感が強まり、依然として厳しい状況で推移いたしました。

この様な環境下、当社グループは、引き続き食品会社として相応しい工場創りに努力し、安心・安全な製品の安定供給を最重要課題として取り組んでまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高9,847百万円（前年同期比1.3%減）、営業利益941百万円（同8.9%増）、経常利益1,024百万円（同7.1%増）、四半期純利益683百万円（同24.7%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメント業績は、次のとおりであります。

①精糖事業

精糖事業の業績は、売上高6,572百万円、営業利益971百万円となりました。売上面では、個人消費が低迷する中、家庭用小袋の落ち込み等により、販売数量は前年同期を下回りましたが、海外原糖市況の高騰等により前年同期に比べ製品価格が上昇いたしました。利益面では、引き続き原料調達コストの抑制及び生産コストの削減に努めました。

②機能性素材事業

機能性素材事業の業績は、売上高2,959百万円、営業利益39百万円となりました。厳しい経済環境下、売上面では機能性食品素材「イヌリン」の新製品である低価格品を中心に拡販に努めたことにより販売数量は前年同期を上回りました。さらに連結子会社であるユニテックフーズ(株)のOEM関連部門が好調に推移いたしました。利益面では各部門においてコスト削減に努めました。特に切花活力剤部門においてのコスト抑制等が利益改善に寄与いたしました。

③不動産事業

不動産事業の業績は、売上高315百万円、営業利益272百万円となりました。賃貸事業は、賃貸物件の一部建替工事を行ったものの、概ね順調に推移いたしました。また、開発事業は、前年同期にマンション開発分譲の売上が一部ありましたが、当第2四半期連結累計期間においては行っておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3.1%増加し、18,494百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

①資産

資産につきましては、流動資産は前連結会計年度末に比べ7.9%増加し、8,045百万円となりました。これは主に売上債権及び棚卸資産の増加等によるものであります。

また、固定資産は前連結会計年度末に比べ0.3%減少し、10,449百万円となりました。これは主に投資有価証券の減少等によるものであります。

②負債

負債につきましては、流動負債は前連結会計年度末に比べ12.0%増加し、4,033百万円となりました。これは主に仕入債務の増加等によるものであります。

また、固定負債は前連結会計年度末に比べ6.5%減少し、2,453百万円となりました。これは主に長期借入金の減少等によるものであります。

③純資産

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2.5%増加し、12,007百万円となりました。これは主に四半期純利益計上による利益剰余金の増加等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ336百万円減少し、2,417百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は、248百万円（前年同期比80.0%減）となりました。これは主に棚卸資産が減少から増加に転じたこと、法人税等の支払額が増加したこと等によるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、157百万円（前年同期比67.4%減）となりました。これは主に子会社株式の取得による支出が減少したこと、投資有価証券の売却及び償還による収入があったこと等によるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、426百万円（前年同期比5.6%増）となりました。これは主に長期借入れによる収入が減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間において、堅実な原糖仕入による製造費用の削減や管理経費の減少により、当初の予想を上回る結果となりました。この第2四半期連結累計期間の上方修正の影響を考慮した結果、通期の連結業績予想を修正いたしました。

詳細は、本日（平成22年11月2日）発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

《会計処理基準に関する事項の変更》

1. 「資産除去債務に関する会計基準」の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益はそれぞれ883千円減少、税金等調整前四半期純利益は36,791千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は53,159千円であります。

2. 連結子会社の資産及び負債の評価に関する事項の変更

連結子会社の資産及び負債の評価方法は、従来、部分時価評価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）を適用し、全面時価評価法に変更しております。

これによる影響額はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,098,724	2,435,258
受取手形及び売掛金	1,710,658	1,604,241
有価証券	322,042	352,059
商品及び製品	1,369,885	1,316,757
仕掛品	139,666	117,830
原材料及び貯蔵品	1,061,547	813,761
その他	1,346,359	819,531
貸倒引当金	△3,245	△3,575
流動資産合計	8,045,639	7,455,865
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	737,527	693,325
機械装置及び運搬具(純額)	154,728	171,859
土地	2,048,834	2,048,834
その他(純額)	47,046	53,129
有形固定資産合計	2,988,138	2,967,149
無形固定資産		
のれん	1,063,760	1,117,754
その他	61,304	66,244
無形固定資産合計	1,125,064	1,183,999
投資その他の資産		
投資有価証券	3,884,353	4,076,088
その他	2,534,577	2,355,189
貸倒引当金	△82,911	△100,635
投資その他の資産合計	6,336,019	6,330,643
固定資産合計	10,449,222	10,481,791
資産合計	18,494,861	17,937,657

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	937,984	806,822
短期借入金	1,450,114	1,495,114
未払法人税等	290,415	471,561
賞与引当金	108,793	112,108
役員賞与引当金	6,930	13,680
その他	1,239,617	701,960
流動負債合計	4,033,854	3,601,246
固定負債		
長期借入金	1,334,257	1,449,939
退職給付引当金	480,105	529,247
役員退職慰労引当金	120,402	139,672
資産除去債務	53,426	—
持分法適用に伴う負債	16,313	64,475
その他	449,156	442,153
固定負債合計	2,453,660	2,625,487
負債合計	6,487,515	6,226,733
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,524,460	1,524,460
資本剰余金	2,508,559	2,508,559
利益剰余金	8,603,311	8,184,508
自己株式	△807,391	△806,025
株主資本合計	11,828,939	11,411,503
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	183,326	304,977
繰延ヘッジ損益	△4,919	△5,557
評価・換算差額等合計	178,406	299,419
純資産合計	12,007,346	11,710,923
負債純資産合計	18,494,861	17,937,657

(2) 四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	9,981,757	9,847,982
売上原価	7,553,340	7,311,818
売上総利益	2,428,417	2,536,163
販売費及び一般管理費	1,563,882	1,594,370
営業利益	864,535	941,793
営業外収益		
受取利息	25,502	24,612
受取配当金	22,563	25,857
持分法による投資利益	86,927	61,122
その他	10,116	11,912
営業外収益合計	145,109	123,504
営業外費用		
支払利息	27,637	24,443
匿名組合投資損失	22,958	14,858
その他	2,468	1,674
営業外費用合計	53,065	40,976
経常利益	956,580	1,024,321
特別利益		
固定資産売却益	484	—
投資有価証券売却益	—	1,530
その他	65	—
特別利益合計	549	1,530
特別損失		
減損損失	2,473	3,527
投資有価証券評価損	40,021	—
貸倒引当金繰入額	42,221	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	35,908
その他	48	2,092
特別損失合計	84,765	41,528
税金等調整前四半期純利益	872,364	984,323
法人税、住民税及び事業税	356,690	285,699
法人税等調整額	△39,093	15,178
法人税等合計	317,596	300,877
少数株主損益調整前四半期純利益	—	683,445
少数株主利益	6,710	—
四半期純利益	548,057	683,445

【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
売上高	4,677,727	5,002,439
売上原価	3,419,259	3,654,765
売上総利益	1,258,467	1,347,673
販売費及び一般管理費	785,808	806,959
営業利益	472,659	540,713
営業外収益		
受取利息	12,106	11,200
受取配当金	2,282	2,542
持分法による投資利益	72,879	52,746
その他	6,921	5,495
営業外収益合計	94,190	71,985
営業外費用		
支払利息	14,484	14,561
匿名組合投資損失	11,552	4,782
その他	1,013	752
営業外費用合計	27,050	20,096
経常利益	539,799	592,602
特別利益		
貸倒引当金戻入額	3,342	—
特別利益合計	3,342	—
特別損失		
固定資産除却損	—	432
減損損失	454	1,315
投資有価証券評価損	27,925	—
その他	38	—
特別損失合計	28,418	1,747
税金等調整前四半期純利益	514,723	590,854
法人税、住民税及び事業税	219,159	245,560
法人税等調整額	△26,699	△33,873
法人税等合計	192,459	211,687
少数株主損益調整前四半期純利益	—	379,167
四半期純利益	322,263	379,167

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	872,364	984,323
減価償却費	71,616	64,633
のれん償却額	51,277	53,994
減損損失	2,473	3,527
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,044	△3,315
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△5,000	△6,750
貸倒引当金の増減額(△は減少)	41,948	△18,053
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△19,087	△49,141
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	15,213	△19,270
受取利息及び受取配当金	△48,066	△50,470
支払利息	27,637	24,443
持分法による投資損益(△は益)	△86,927	△61,122
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△1,530
投資有価証券評価損益(△は益)	40,021	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	35,908
売上債権の増減額(△は増加)	25,180	△106,417
たな卸資産の増減額(△は増加)	705,133	△322,750
その他の流動資産の増減額(△は増加)	423,143	23,487
仕入債務の増減額(△は減少)	△184,200	131,161
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△721,136	△39,331
その他	△54,704	10,895
小計	1,155,843	654,222
利息及び配当金の受取額	79,809	77,130
利息の支払額	△25,487	△21,114
法人税等の支払額	31,605	△462,200
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,241,772	248,038
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	10,000	—
有形固定資産の取得による支出	△69,119	△79,671
有形固定資産の売却による収入	2,000	—
無形固定資産の取得による支出	△729	—
投資有価証券の取得による支出	△623	△628
投資有価証券の売却及び償還による収入	—	96,435
長期貸付金の回収による収入	248,479	306,564
長期貸付けによる支出	△470,000	△480,000
子会社株式の取得による支出	△202,860	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△482,852	△157,300
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	70,000	△20,000
長期借入れによる収入	200,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△190,615	△240,682
自己株式の取得による支出	△237,487	△1,366
自己株式の売却による収入	330	—
配当金の支払額	△246,234	△264,642
財務活動によるキャッシュ・フロー	△404,006	△426,691
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,369	△571
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	353,543	△336,525
現金及び現金同等物の期首残高	2,313,612	2,754,291
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,667,156	2,417,766

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

	精糖 (千円)	機能性素材 (千円)	不動産 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社(千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	6,201,091	2,780,234	1,000,431	9,981,757	—	9,981,757
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	177	555	732	(732)	—
計	6,201,091	2,780,411	1,000,986	9,982,489	(732)	9,981,757
営業利益	672,129	5,710	282,646	960,486	(95,950)	864,535

(注) 1 事業区分の方法は、内部管理上採用している売上集計区分によっております。

2 各事業の主要な製品または業務

(1) 精糖…………… 精製糖、液糖及び糖蜜

(2) 機能性素材…………… 食品添加物、切花活力剤、イヌリン等の機能性食品素材
及びペクチン等の天然添加物素材

(3) 不動産…………… 不動産賃貸等

3 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用(96,550千円)は、親会社の管理部門及び研究開発室に係る費用であります。

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

在外子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

海外売上高がないため、該当事項はありません。

〔セグメント情報〕

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、各拠点に製品・サービス別の事業本部を置き、各事業本部は、取り扱う製品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、事業本部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「精糖事業」、「機能性素材事業」及び「不動産事業」の3つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントを構成する主要製品及びサービスは以下のとおりであります。

報告セグメント	主要製品及びサービス
精糖事業	精製糖、液糖、砂糖関連製品等
機能性素材事業	食品添加物、切花活力剤、機能性食品素材、天然添加物素材等
不動産事業	不動産賃貸等

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する事項

当第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖事業	機能性素材 事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,572,429	2,959,610	315,942	9,847,982	—	9,847,982
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,132	788	555	8,476	△8,476	—
計	6,579,562	2,960,398	316,497	9,856,458	△8,476	9,847,982
セグメント利益	971,319	39,858	272,357	1,283,535	△341,741	941,793

(注) 1 セグメント利益の調整額341,741千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発室に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。